

公園施設の見直しワークショップ

近年、公園や道路などの都市施設の見直しが課題となっています。老朽化した公共施設をどのように維持管理していくのか。時には大胆な案も求められています。

そのような中で、都市公園の見直しをするワークショップのファシリテーターを務めることになりました。その前に、基本的な考え方を共有するために、シンポジウムが行われました。

☆シンポジウムでは

公園をデザインした方をお呼びして（現、岐阜県立国際園芸アカデミー学長）の基調講演とファシリテーターの方によるワークショップが行われました。（その後の4回にわたるワークショップを担当させていただきます。）

基調講演では、公園内でできないことはほとんどない、やりたいことはできる。との心強い内容で、公園に対する夢が膨らんでいきました。

ワークショップでは、丁寧なレクチャーと進め方。そして、フットワーク軽く会場内を移動するファシリテーターの方の魅力で、たくさんの意見が出ました。

この日は、マルシェも開催されており、にぎやかな公園をイメージできました。

☆これからのワークショップ

このようなステキなシンポジウムの後を引き継ぐのは、重責です。

参加される市民の方々、公園を訪れる方々が楽しく利用でき、親しめる公園を目標にして進めてまいります。そして、やりたいことができる公園にもしていきたい、とファシリテーターの夢も膨らんでいきました。



☆自分以外の方がファシリテーターを務めるワークショップに参加するのは、発見や気づきがあり、たいへん楽しく学びになりました。もちろん、参加者としても楽しみました。そして、自分の普段の姿をふりかえりつつ、足りないところをプラスして行こう！と思いました。楽しく素敵な機会をいただけたことに感謝です。